

# 沼津市立病院新改革プラン評価委員会委員による点検・評価結果

## 1 趣旨

平成 28 年度末に策定した「沼津市立病院新改革プラン」（計画期間 平成 29 年度～令和 2 年度）では、病院事業の経営改善に総合的に取り組むことにより、令和 2 年度までに経常収支を黒字化することを目標としている。

経営改善の着実な推進を図るため、本プランでは年 1 回委員の点検・評価を受けることとしており、平成 30 年度の取組みについて昨年度に引き続き委員から意見を伺った。

## 2 概要

### (1) 評価委員会委員

	氏名	所属	職	訪問日
1	上西 紀夫	公立昭和病院	病院長	令和元年 8 月 22 日
2	田中 一成	静岡県立総合病院	病院長	令和元年 9 月 3 日
3	西方 俊	沼津医師会	会長	令和元年 9 月 4 日

### (2) 委員からいただいた意見（主なもの）

#### 収入増加に関するもの

- ・ 医師が不在又は不足している診療科の医師を確保し患者数の増加を図ること
- ・ 救急科の医師を確保し、救命救急センターからの患者数の増加を図ること

#### 費用削減に関するもの

- ・ 使用頻度の高い診療材料は共同購入、使用頻度の低い診療材料は個別購入が経費削減に有効である
- ・ 人件費は固定費であるため、医療従事者の業務量を整理して適切な人員配置を行うこと

#### 管理運営体制の強化に関するもの

- ・ 職員に対する教育体制を整えることが重要である
- ・ 病院長が沼津市立病院の全職員を対象に行う当院の経営状況などの講話は、職員の経営意識の向上に非常に効果的である

## 3 今後の取組み

収入を増加させるためには医師の確保が非常に有効であるとの意見をいただいた。昨年度に続き今年度も医師の確保を目的に院長及び副院長が大学医局を精力的に訪問し、協力関係を深め、医師の招聘に力を注いでいる。

今後も継続して医師確保のほか診療報酬単価の向上等の収入を増加させる取組み、診療材料の共同購入等による費用を削減させる取組みに努め、安定した病院運営を図っていく。